

事業評価シート（まちづくり編）

基本目標		個別目標	1	基本施策	
計画事業	77	地域のお宝発掘			

目的
埋もれた「地域のお宝」を発掘し、広く情報発信し、又は、適切な方法で公開することにより、区民の地域に対する愛着や誇りを育み、地域文化の活性化を図ります。
手段
1 区ホームページ、広報紙、ポスター、チラシ、イベント等により、「地域のお宝」に関する情報を広く募集します。 2 寄せられた情報は、調査、整理し、ホームページ、小冊子、パネル等により区内外に広く情報発信します。 3 「地域のお宝」の種類、性質等に応じ、区役所ロビー等において、適切な方法で積極的に公開していきます。

事業の主な実施内容

平成20年度	
区広報紙・ホームページでの周知 「広報しんじゅく」2月15日号掲載・ホームページは通年掲載	文化財協力員への働きかけ 文化財協力員の研修会での資料配布及び協力依頼
周知イベントの実施 お宝写真展 3月9日～3月13日 本庁1階ロビー	新宿コマ劇場での発掘 劇場閉館時に「コマ劇場のお宝発掘」作業実施
関連イベントでの募集告知及び投票箱設置 漱石山房の発信事業「漱石枕流」・「漱石千思万考」	大新宿区まつり「ふれあいフェスタ2008」での募集 57,000人が参加する祭りでの専用ブースでの募集

事業の指標

指標名	定義	目標水準
1 地域のお宝情報の提供件数	区民から文化・観光資源の発掘情報を提供された件数	毎年度200
2		
3		
4		

達成水準

	単位	20年度 (現状)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	23年度 (目標)	20～23年度	備考
指標1	目標値1	200	200	200	200	800	
	実績1	71					
	= /	35.5					
指標2	目標値1						
	実績1						
	= /	%					
指標3	目標値1						
	実績1						
	= /	%					
指標4	目標値1						
	実績1						
	= /	%					

コスト

トータルコスト	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	20～23年度	備考
事業費	千円	1,056				1,056	
人件費		845				845	
事務費		0				0	
減価償却費		0				0	
総計		1,901				1,901	
財源内訳							
一般財源	千円	1,901				1,901	
特定財源		0				0	
一般財源投入率	%	100.0				100.0	
職員							
常勤職員	人	0.1				0.1	
非常勤職員	人	0				0	

評価

視点	評価区分	評価の理由
サービスの負担と担い手	適切である 改善が必要である	身近な地域のお宝について、区民がお宝発掘・情報の提供し、区が情報の募集・整理・発信を実施することは、事業目的から見て適切です。
適切な目標設定	適切である 改善が必要である	既に知られている、いないを問わず、まちのお宝に気付き、興味や関心を持って行動することが地域への誇りや愛着を育むことにつながります。従って、情報の提供件数を指標としたことは適切です。
効果的・効率的な視点	効果的・効率的である 改善が必要である	身近な地域のお宝について、区民自ら発掘・情報提供し、区は情報の募集・整理・発信役割を担うこととし、明確に役割を分担しており効率的です。
目的(目標水準)の達成度	達成度が高い 達成度が低い	対象を「地域のお宝」と広げたことの周知に努め、地域の言い伝えや写真等が寄せられるなど、提供される情報の内容の幅が更に広がりましたが、寄せられた情報は十分ではありませんでした。
総合評価	計画以上に進んでいる 計画どおりに進んでいる 計画どおりに進んでいない	寄せられた情報量は十分ではありませんが、夏目漱石のイベントでも情報を募ったほか、コマ劇場で発掘作業を行ったり、文化財協力員の会議で協力を依頼する等の募集方法の工夫等により、貴重なコマ劇場の資料やあまり知られていない石像群の情報が寄せられるなど、お宝の内容が広がりを見せてきました。これらについて広く発信することで、新たなお宝の発掘に結び付けていくことができます。

進捗状況・今後の取組み方針

20年度状況	状況認識(課題)	区民から寄せられた文化資源の情報が、まだ十分とは言えません。身近な資源を発掘して共有化し、さらに発展させる取組みが必要です。				
	改革方針	寄せられた情報は量は十分ではありませんが、対象を「地域のお宝」と広げたことや、漱石講演会等の関連イベントでの募集等の工夫により、知られていない石像や伝承、豆本コレクションが寄せられるなど、お宝の内容が広がってきました。目標を達成できませんでしたが、文化・歴史資源に加え、これらの多彩なお宝を広く発信することで、新たなお宝発掘に結び付けていきます。				
21年度評価	改革方針への対応状況	引き続き、対象を「地域のお宝」と広げ、「漱石枕流」等の関連イベントでの募集を行いました。また、文化財協力員の研修会での協力依頼や閉館したコマ劇場でのお宝発掘等を行いました。発掘した情報は、新たな発掘に結びつけるため、3月の周知イベントでパネル化して発信するとともに、ホームページで公開しています。				
	課題	お宝情報の内容が広がりを見せていますが、純粋なコレクション等の地域に根ざさない情報もあります。より事業目的に即した情報を寄せていただく仕組み作りが必要です。				
	改革方針	方向性	内容	現状のまま継続 事業統合		
				手段改善 休廃止	事業縮小 その他(制度改正等)	事業拡大
				お宝の募集に当たり、「区外の人に見てもらいたい、新宿区のお宝」のように、地域とのゆかりやテーマ性を明確にする等、募集方法を工夫していきます。 また、学校のお宝発掘など、発掘方法の工夫にも取り組んでいきます。		